

## VGPアワード金賞を獲得! 全方位に完成度が高い

オーディオテクニカの新しい完全ワイヤレスイヤホン「ATH-SQ1TW2」が、VGP2023 SUMMERで金賞に輝いた。スクエア形状のカラフルなイヤホンという初代機のコセプトを継承しつつ、音質面と機能面ともに正統進化を果たしたことが大きな理由だ。さらなる小型化を実現していることも見逃せない。ATH-SQ1TW2の実物を手にとると、イヤホン本体の表面や充電ケースの蓋、イヤークリップや付属ケーブルなど、全6色のカラーリングは1点1点で微妙に異なり、ファッションアイテムとして細部まで作り込まれていて、それが全体として洒落感につながっていることがよくわかる。

そして実際に装着してみると、ノズルを斜めに配置するなど、耳穴に対してストレートに収まるように形状が最適化されていて、密閉性はとても高い。スクエア形状であることは、合理的な設計につながり、小型化にも寄与しているようで、耳に引っかかるどころもなく、自然なフィット感だ。それなのに、周りの人から見ると、アクセサ

リのように主張があるデザインになっている。自分だけの世界に没入でき、個性を主張するアイテムとしても完成されているのだ。

機能面についても、紹介しておこう。イヤホンの基本操作はタッチセンサーでおこなう形式で、音質や機能をカスタマイズして使い勝手を高められるスマホアプリが用意されている。キアサインやタッチセンサー感度の設定が可能だ。また、2台のBluetooth対応機器にワイヤレスで同時接続できるマルチポイントに対応している。通話マイクについて、通話音質チューニングを最適にしたことで、声をクリアに拾いやすくなっている。IPX5相当(イヤホン本体のみ)の防水性能も備えた。そしてQi規格によるワイヤレス充電に対応したのも新たな進化点だ。イヤホン単体で最大連続再生約6.5時間(ケース込みで最大20時間)とバッテリーライフも十分。さらに低遅延モードも備えていて、音楽はもちろんビデオやゲームまで、コンテンツの種類を選ばず楽しめるのも魅力だ。見た目は個性派だが、イヤホ

# 色とりどりのスクエア イヤホンは個性!

アクセサリ感覚で選べるカラフルな6色展開。小さな耳にぴったりハマる、スクエア型フォルム。小さいからと侮るなかれ! プロが認めた高音質と機能性はクラス最高峰の完成度を誇る。完全ワイヤレス入門の決定版、オーディオテクニカ「ATH-SQ1TW2」の魅力に、折原一也が迫る。

文/折原一也  
Kazuya Orihara

### 完全ワイヤレスイヤホン

# Audio-Technica ATH-SQ1TW2



Bluetooth  
完全ワイヤレスイヤホン  
(1万円以上1.2万円未満)

¥OPEN(直販サイト価格 ¥10,780/税込)

▶投票 No.001

SPEC ●通信方式:Bluetooth5.2 ●コーデック:SBC ●連続再生時間:約6.5時間(ケース込み約20時間) ●質量:約4g(イヤホン片側) ●付属品:イヤークリップ(XS/S/M/L)、充電ケーブル

カラーは全部で6色。左からWH(ビュアホワイト)、PBW(ピンクブラウン)、CA(カフェラテ)、GR(フォレストグリーン)、NRD(ネイビーレッド)、BK(ジェットブラック)。手に馴染み、指紋が目立ちにくいマットな質感の塗装になっているのもおしゃれ! 蓋は透明なアクリルパーツになっていて、イヤホンと融合して初めて成立する一体化デザイン。



ンのトレンドを基本以上にしっかりと押さえた優等生でもあるのだ。

音質のよさについても、VGP アワードで評論家諸氏から高く評価されたポイントだ。ATH-SQ1TW2は、専用設計の5.8mmドライバーを搭載している。口径は初代機から変わっていないが、振動板の素材や形状が見直しされている。サウンドを一言で表すなら、より臨場感を重視した、音楽を聴く楽しさを感じるチューニングに進化している。歌声は生々しく、シャープな金属音のキレ、自然なステージの広がりも感じられるし、強めの低音リズムの刻みも健在だ。初めて完全ワイヤレスイヤホンを買うような初心者にこそ薦めたいような「ノリよく音楽に没入できるサウンド」だ。なお、スマホアプリのイコライザーで「Vocal」の設定にすると歌声の再現性を引き上げられる。他にも「Bass Boost」「Dynamic」「Clear」の設定も用意されているので、お好みでカスタマイズするといだろう。

ATH-SQ1TW2は、初代機から総合的に進化したことを実感させてくれる、完成度の高い完全ワイヤレスイヤホンだ。前作に続いてロングセラーの予感がする。



男性でも女性でも使いやすいデザインで、ファッションにあわせて選べる6色のカラー展開がうれしい。

# フォルム 自分らしく選ぶ



- ① オーディオテクニカらしく、ドライバーは本機のための専用設計。Φ5.8mm径で、初代機から振動板の素材や形状を見直し、低域の量感を維持しつつ、自然な高域の伸びやかさをアップさせたという。音楽をノリよく、楽しく聴かせてくれるキャラクターだ。
- ② 初代機から約10%コンパクトになっていて、重さはわずか約4g。効率的なパーツ配置や基板面積の確保など、スクエア形状であることは、小さく設計するためにメリットが大きいという。指先で掴みやすいという利点もある。
- ③ イヤホンの防水性能はIPX5相当に進化。水洗いできるので清潔に使えるメリットもある。マルチポイント接続にも対応しているから、普段使いはもちろん、仕事で使うのにもぴったり。
- ④ 動画やゲームを楽しむことを想定して低遅延モードも搭載されている。
- ⑤ ワイヤレスチャージもできる充電ケース。バッテリー残量が見た目でわかるLEDインジケーターが付いているのも便利だ。

